

あいち農産物生産流通レポート

平成21年9月号

| | | |
|---------------------------------|--------------------------|----|
| 情報サロン | | |
| ・「夏休み！親子de食育」を開催しました | (食育推進課)..... | 1 |
| 地域トピックス | | |
| ・豊田市農林畜産物品評会「桃の部」の開催 | (豊田加茂農林水産事務所)..... | 2 |
| 東日本情報 | | |
| ・平成20年度京浜市場における愛知県秋冬野菜の販売結果について | (東京事務所)..... | 3 |
| 西日本情報 | | |
| ・第42回愛知県山村花き品評会が開催されました | (園芸農産課)..... | 8 |
| フラワーページ | | |
| ・花き業界がこれからすべきことは？ | (株式会社東日本板橋花き 樋口 博紀)..... | 10 |
| 青 果 | | |
| ・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場) | | 11 |
| ・名古屋・東京市場における青果物の9月の見通し | | 12 |
| 花 き | | |
| ・切花・鉢花の9月の見通し(県内市場) | | 24 |
| 輸出入 | | |
| ・主要農産物の輸出入実績(2009年6月) | | 28 |
| 関連指数 | | 29 |

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6417

見て・聞いて・触れて 楽しく学べる食育教室 「夏休み！親子de食育」を開催しました

平成21年7月28、29日及び8月4、5日に、親子食育教室「夏休み！親子de食育」を開催しました。

この催しは、「食」の大切さを知り、「食」に対する関心を高め、健全な食生活の実践を促すことを目的として、愛知県発祥の食品関連企業9社で構成される「あいち食育サポート企業団」と、愛知県農林水産部食育推進課との共催で行いました。小学生とその保護者計40組80名の親子が、2日間楽しく食育について学びました。

1日目は「食育のおはなし」と題し、各企業の食育担当者による食品や栄養バランスに関する講義を行いました。「味噌作り体験」などの実習や、酢の性質についての実験、食材の歴史についてのクイズなど、子どもたちが「食」に興味を持てるように工夫された講義となりました。

2日目は「食の現場をみてみよう」と題し、卸売市場や食品工場、食品売り場の裏側等の現地見学を行いました。食肉卸売市場での牛・豚の解体の様態や、小売店での食品リサイクルの仕組みなど、普段見ることのできない様子を、参加者は興味深く見ていました。

企業団との共催という利点を十分に生かし、五感を通して体感できる食育教室とすることができました。

参加者からも非常に好評で、保護者の方からは「子どもはもちろん、親としても初めて知ることが多かった。」などの声があり、夏休みの自由研究のため熱心にメモをとる子どもたちの姿も多く見られました。

ここで学んだ知識や感じた経験を生かし、より良い食生活の実践に繋げていって頂ければと思います。



親子で協力して「my味噌」づくりに挑戦



珍しい品種のトマトを見比べ、食べ比べ



食パン製造ラインの見学の様子



卸売業者による刺身おろしの実演

豊田市農林畜産物品評会「桃の部」の開催

豊田市では猿投地区を中心に桃の栽培が盛んに行われており、農林水産統計年報によると平成18年度の出荷量は540tと県下で一番の出荷量を誇っています。

7月24日に選果場にて、豊田市農林畜産物品評会「桃の部」の開催が開催されました。豊田市内の桃生産農家を対象に行われ、18点の出品があり、特別賞、金賞、銀賞にそれぞれ1点ずつ選ばれました。

出品された桃の品種は「白鳳」、「黄美娘^{きみこ}」、「大和白桃」等です。「白鳳」は昔ながらの品種で出荷量が一番多く、「黄美娘^{きみこ}」は果肉が黄色い南国フルーツのような風味がある品種で近年出荷量が伸びています。

審査項目は外観、病害虫、食味、糖度等で審査されました。

今年は日照量が多く、果実肥大期には降水量も十分あったことから、果実の生育も順調でした。出品された桃も着色、玉揃いともに良く、糖度も最高17.8度、平均14.1度で品質の高いものが多く見受けられました。

選果場には光センサー式糖度計を備えた選果ラインがあり、高品質で付加価値の高い桃が出荷されています。



写真1 品評会出品風景

左側に並んでいる桃が白鳳で、右側に並んでいる桃が黄美娘。糖度測定のため一部切り取られている。



写真2 入賞した「黄美娘^{きみこ}」

皮に細毛があり、果皮も果肉も黄色い桃。出荷盛は7月中下旬で、白鳳よりも半月遅い。

平成20年度京浜市場における愛知県秋冬野菜の販売結果について

7月7日に開催された京浜市場愛知県野菜連絡会主催による秋冬野菜販売反省会における販売概況のうち、先月号のキャベツ、ブロッコリー以外の品目について報告します。

品目別販売概要（京浜市場愛知県野菜連絡会の各研究会がまとめたもの）

1 トマト

(1) 販売経過

東北産地を中心とする夏秋物は7～9月安値で推移し、西南暖地物へと移行しました。10～11月は、冷え込みによる関東産抑制物の減少から価格は堅調に推移しました。12月に入り熊本産の増加が見込まれましたが、反対に年末に向かって数量が減少しました。このため、早めの売り込みに対して出荷量が少なくなり欠品が生じました。

年明けも引き続き品薄状況は続きましたが、初荷からの価格高騰により1月下旬からは下げに転じました。2月の厳冬期に入り、需要の停滞から苦しい販売となりました。3月になると例年どおり春商材としての引き合いが強く高値推移が続きました。4月以降も安定価格での販売となりました。

(2) 競合産地の動向

熊本県：今期は更にミニトマト作への移行が進んでいます。黄化葉巻病耐病性品種の導入は食味等の課題があり、予想より伸びませんでした。

静岡県：県西地域において、新品種「りんか409」の導入が進んでいます。作付面積は横ばいです。

(3) 消費動向

厳冬期における食味の悪さから消費が鈍く、3月以降の需要が高まっています（総体的な食味向上が必要）。

(4) 野菜連絡会から本県への提言

- ・3月以降の数量確保。
- ・ファーストトマトの面積確保。

2 ミニトマト

(1) 販売経過

年内の販売においては、9月中旬より出荷が始まり例年並のスタートとりました。12月に入り入荷量が増加する中、熊本を中心とする他産地の数量が伸びず愛知産は价格的に安定した販売となりました。クリスマス需要の販売において、200gパック売りから、量販店等が売価を自由設定しやすい3kgバラ箱にシフトする動きがみられました。

年明けの1～2月は平年並みの安定した販売となりました。3～5月期は月変わりのタイミングで入荷量が減少し、その後中下旬になると入荷量が回復する不

安定な入荷となりましたが、価格は堅調に推移しました。天候不順の影響による不安定な草勢、着果で山谷を繰り返す産地の出荷数量に対して、末端での売りこみ（商談）がかみ合わない状況をなかなか解消できませんでした。

5月連休に入っても入荷量は増加せず、5月下旬からは出荷量が増加し潤沢な数量となったことからM玉級でパック当たり100円前後の安値販売が続きました。

(2) 競合産地の動向

千葉県：作付面積は前年より若干減少。

熊本県：作付面積は前年より若干増加(特に植え替えタイプが増)。

(3) 消費動向

年々需要が伸びている中、量販店においても目玉商品として年間を通して平台で安定的に販売されています。今後についても、おいしいミニトマト(食味追求)であれば量販店での安定的な販売が見込まれます。

(4) 野菜連絡会から本県への提言

- ・品質の安定
- ・的確な産地情報
- ・計画的な安定出荷

3 おおば

(1) 販売経過

平成20年度の東京都中央卸売市場データによると、販売数量は前年対比103%、販売単価は94%、販売金額は97%という結果でありました。

年末の需要期がまずまずの販売状況であったことを除くと、やはり数量増の単価安での販売となった一年であったように思います。販売数量が増加した背景としては、愛知県育成の新品種導入や雇用環境の変化が影響しているものと考えられます。また、単価安に関しては、販売数量の増加はもちろんでありますが、それ以上に不況による業務筋の需要低迷が大きく影響しているものと思われる。

(2) 競合産地の動向

各県産地が単価安で苦戦する中、茨城県の産地は各出荷組合ともに生産者、作付面積ともに減少しています。また、四国産地の高知県、愛媛県は、市場集約により、東京都中央卸売市場の取扱量が減少しています。一方で、大分県産は、販売数量が前年対比130%と増加しています。なお、中国産は昨年引き続き敬遠され、市場での流通がほとんどみられませんでした。

(3) 消費動向

単価安の対策として、卸売会社では「2束売り」や「パック売り」などを提案し、販売してきましたが、全体をみるとまだまだ年間を通じて1束売りが主流であります。薬味需要は当然として、大葉ジュースなど量を使う料理レシピもあるので、試食やレシピの配布など消費拡大策を今後、積極的に取り組まなければ、大葉の消費量は縮小してしまうように思われます。

(4) 野菜連絡会から本県への提言

他県を圧倒する大きな産地ではありますが、細かな需要への対応、例えばPB商品などの取組はまだ他産地に劣るものがあります。PB商品の他にも加工、中食、外食はもちろんのこと業務、量販店に至るまであらゆる需要に対応していける姿勢をもっていただきたいと思えます。

4 レタス

(1) 販売経過

本年は、秋口からの降雨等の影響により年末、年始の供給量が見込みよりも大きく減少し、価格も上昇しました。競合産地である香川県産は、ブロッコリーへの転作と高齢化により生産量の減少が顕著でありました。その後、1月～2月中旬まで天候の回復とともに各地の出荷量も安定し、価格帯も厳冬期としては大きく下げる状況となりました。2月下旬からは寒さも戻り出荷の端境期となったことから高値へと転じました。3月中は茨城県産の出荷が開始されたものの降雨等の影響もあり、数量が思うように伸びず春商材への売場変更から発注量も増え安定した価格帯での取り引きとなりました。4月以降、各産地の出荷量は回復しましたが通年ほどの供給量には達せず、比較的販売環境は良好でありました。

(2) 競合産地の動向

- ・兵庫県はほぼ横ばいの作付け。
- ・香川県はブロッコリーへの転作・高齢化により生産量は減少。
- ・静岡県、茨城県は微減。
- ・九州産地の長崎県は横ばい、熊本県、鹿児島県等の新興産地では増加傾向。

(3) 消費動向

世界的な景気動向により一般的な需要は減少傾向にあります。しかしながら、拡販時(広告等)の発注量はさほど大きな減少はしていません。全体的な価格帯は下がる傾向にあります。

(4) 野菜連絡会から本県への提言

品質的な面から見て他の競合産地に劣らないがボリューム感がないように思える時があります。シーズンを通して全等級が安定した出荷ができるようにお願いします。

5 リーフ系レタス

(1) 販売経過

前年度の安値から作付けが減少した産地もありましたが、ほぼ前年並の作付けがなされていました。当初は豊作型が見込まれていましたが、たび重なる降雨の影響で日々のお荷量の増減が激しく、出荷も前進傾向にありました。

(2) 競合産地の動向

- ・福岡県：京浜市場へのお荷期間が長くなっています。年内は前進出荷となり、1月は前年より減少しました。
- ・茨城県：12月から2月まで、2月のグリーンリーフを除いて、前年の2割増のお荷量がありました。
- ・千葉県：1月の京浜市場へのお荷量は愛知県産を上回っていました。

(3) 消費動向

100年に一度の大不況と連呼されている影響は、一部の品目では出始めています。主力品目においてはさほどでもありませんが、必要最低限の消費に徹底されつつあります。

(4) 野菜連絡会から本県への提言

- ・生産量と品質の確保で、販売先への信頼を維持。

- ・ 契約取引で安定した販売確保。
- ・ 消費地と生産地の情報交換を密にする。

6 セルリー

(1) 販売経過

10月下旬の農薬問題以降、各量販店がセルリーの売り場スペースを狭めた中で露地作のスタートとなりました。豊作傾向の中、2Lの比率が高く12月中旬まで単価安の販売となりました。年末にかけては値頃感の流れから各量販店のチラシ等の動きもあり引き合いが良く堅調な販売となりました。

年明け以降も2L比率が高い中で、前年を上回る相場展開となりました。また、12～1月の輸入セルリーの農薬問題もやや追い風となり、業務・加工向けの引き合いも強くなりました。

(2) 競合産地の動向

- ・ 静岡県：作付はやや減少。チンゲンサイ等への作目転換が進んでいます。
- ・ 福岡県：作付は横ばい。別枠出荷の取組みがあります。
- ・ 茨城県：作付は横ばい。ハーフ箱（3kg）で厳選出荷の取組みがあります。

(3) 消費動向

サラダとしての商材イメージが強く、食べ方の提案を産地、市場共にしていくことが必要であります。

(4) 野菜連絡会から本県への提言

他県産主力産地のように、愛知産として田原、豊橋、ひまわりの週間コントロールをできる仕組みができればもっとしっかりとした販売ができ、愛知ブランドとして販売できるのではないかと思います。

7 ふき

(1) 販売経過

抑制ふきは平年並みの価格で出荷がスタートしましたが、昨年と比べると単価は早く下がりました。年内は数量減、単価安となりましたが、年明けの単価は昨年を上回りました。促成ふきも2,300円のスタートとなりましたが出荷量が急増したために価格の下げは早く、その後も価格の上げがなく安値安定となりました。4～5月については心配された品質低下もなく順調な販売がされました。

(2) 競合産地の動向

群馬県産は、高齢化と単価安により生産意欲は減退し、作付面積は減少傾向にあります。

(3) 消費動向

年内の需要は少ないです。春商材としての需要はありますが、若年層の需要が少なく、全体としての需要は減少傾向にあります。

(4) 野菜連絡会から本県への提言

- ・ 高温時の葉の変色、茎のトロケ等による傷みの防止対策
- ・ 等階級の発生率に準じた市場への分荷

8 さやえんどう

(1) 販売経過

キヌサヤえんどう

「紅姫」の作付けが増加したことにより、前年販売した「ミササ」の顧客をシフトして販売できました。豊橋の「紅姫」のブランド力は、健在で良い単価で推移しました。

作付面積は全国的に減少傾向にあるため、今後の愛知に期待が集まっています。

スナップえんどう

全国的に鹿児島、長崎、熊本と産地リレーする中、5月中旬には岡山、香川、下旬には福島、6月には北海道と国産リレーの画一化が出来つつあります。作付けも全国で減っているところはなく、鹿児島に関しては150%以上の作付増加となっています。

(2) 競合産地の動向

全国的にソラマメ、グリーンピースが減少し、キヌサヤも同様でこの分がスナップへ移行し、スナップの増量につながっています。一方、スナップは消費の強い伸びがあり、単価は700円～800円/kgを維持しています。

(3) 消費動向

年末、年初、春フェア、ひな祭りなど各節句にキヌサヤ、スナップ等のチラシ、広告は入りますが、平日やイベントがない日は動きが極端に鈍く、価格変動が大きい販売環境になってきています。

(4) 野菜連絡会から本県への提言

- ・「紅姫」、「サラダスティック」、「砂糖エンドウ」全てにおいて作付け増を目指してほしい。
- ・「エメラルドスティック(ブルームレス)」の評価はとても良く今後期待できます。

9 カリフラワー

(1) 販売経過

年間通して見ると気温が低い時の販売がスムーズでありました。また、中華料理としてメニューに入る傾向が増え、需要が増えました。値頃感のある価格で販売すれば数量も多く売れると思われれます。本年度は、暖冬のために例年に比べて価格変動が少ない傾向にありました。

(2) 競合産地の動向

九州産地の微増のほかは、現状維持。

(3) 消費動向

スーパー、量販店ではブロッコリーに押され販売量も少なかったですが、業務筋においては引き続き好調でありました。

(4) 野菜連絡会から本県への提言

- ・作付面積の確保(春作：3～4月)。
- ・病害虫、異物の混入の是正。
- ・試食宣伝会を通じた一般消費者へのPR。

第42回愛知県山村花き品評会が開催されました

今回の山村花き品評会は、「'09夏・つくで高原花の祭典」のメイン行事に位置付け、7月31日（金）8月1日（土）に愛知県立作手高等学校（新城市作手高里）で開催されました。

この品評会は、山村地域の花きの栽培技術向上と消費宣伝を図り、花き営農の発展を期することを目的に、昭和43年から毎年開催されております。

1 審査結果について

品評会の総出品点数は、306点でした。切り花の部は169点出品され、うち小菊が152点とほとんどを占め、他は輪ギク、ユリ等の出品がありました。枝物の部は54点出品があり、シキミ17点、榊13点、南天12点、錦木5点、クジャクヒバ4点などでした。鉢物の部は83点出品され、うちポットマムが24点、シクラメン7点で他に、ホクシア、ラベンダー等涼しい季候を生かした鉢物が多く出品されました。

審査は、31日に市場及び県の研究機関等の関係者の合議制で行われました。入賞点数は61点で、うち金賞（＝特別賞）20点、銀賞41点が選ばれました。

愛知県知事賞は、切花の部においては、豊田市の川角好史さんの小ギク、枝物の部においては、新城市の仲原久さんのシキミ、鉢物の部においては、新城市の平松敏治さんのポットマムが選ばれました。

今年の気象は、7月上旬及び下旬の日照時間が長引く梅雨の影響により平年の半分以下になり、品質低下が懸念されました。しかし、品評会への出品物は、全体的に品質に優れ商品性の高いものが多く、生産者の並々ならぬ努力が伺われる内容となりました。切り花は、心配された病害や低日照による生育不良の影響もなく、例年に劣らず品質の良いものが集まりました。枝物は、いずれも丹誠込めて栽培、調整されたもので商品性の高いものが多くみられました。鉢物類では、花付きや実付きの鉢物など色鮮やかで華やかな品質の高い商品が多く出品されました。



写真1 審査会の様子

2 表彰式及び一般公開の様子

表彰式及び一般公開は8月1日（土）に行われました。



写真2 表彰式

表彰式は、受賞者はじめ多くの関係者や一般の方々が見守る中で開催されました。品評会会長である神田知事から県知事賞受賞者3名に、三河間伐材で作られた木製の賞状が手渡されたのをはじめ、併せて20名の方々が壇上で各賞を授与されました。

当日はあいにくの天候でしたが、多くの来場者が、出品された地域特産の小ギクをはじめ、山間地の特徴を良く活かした枝物の展示を見たり、ポットマム等の鉢物に関心を寄せていました。

今回初めての試みとして、品評会出品物の即売会に先立って、金賞受賞品の競り売りが行われました。花き市場からプロの競り人を呼び行われた競りは、最初は遠慮がちに参加していた来場者も次第に引きこまれるように熱心になり、盛況な競り会になりました。その後の品評会出品物即売会も毎年のことながら盛況に行われました。

3 関連行事

つくで花の祭典として、多くの関連行事があり、どれも盛況でした。

J A 愛知東によるこども農学校小菊コンテストは66点出品され、山村花き品評会にあわせて表彰式が行われ、受賞した小学生はうれしそうに知事から賞状を受け取っていました。



写真3 競り風景

会場の外には、学校花壇コンクール（FBC）に参加している地元小学校が作成したプランターの花が来場者を出迎えるように並べられ、会場内の一角には特産の鳳来寺ゆりやサギ草が特別展示され、ゆりの香りやサギ草の涼しげな草姿に皆が足を止めていました。

トマト、お茶、五平餅などの地元農産物や加工品の直売も盛況で、品評会会場となった作手高校生も自分達の栽培したトマトやサギ草を直売していました。

農産物直売・体験施設である道の駅「つくで手作り村」とひまわり迷路及び品評会会場の3会場を回るスタンプラリーは多くの参加者がありました。

このように、今回は子供から大人まで楽しめるイベントとなりました。



写真4 一般公開



写真5 鳳来寺ゆり

花き業界がこれからすべきことは？

昨年は、100年に一度と言われる世界的経済危機の中で、今まで黒字決算だった一流企業が軒並み赤字へと転落したように、花き業界も同様にひどい落ち込みでした。

平成10年のピーク時には6,300億円の生産額がありましたが、平成19年には4,800億円と減少し、昨年度は4,200億円まで下がったとされています。昨年は重油高による生産コスト高が生産者を直撃するなかでコスト削減も叫ばれましたが、問題になっていた「重油高からなる冬春期の生産者に対するコスト高」は重油価格の下落とともに聞かれなくなってしまいました。今年の5月に入り、今まで止まっていた製造業のラインなども動きだし、株価も上昇してくる中、重油価格もジワリと上がりだしています。選挙戦報道の影響によりマスコミなどはまだ話題にしていますが、いずれ経済が立ち直れば重油も再び高騰し、昨年同様なことが起きるのは目に見えています。

昨年の産地会議などでは、コスト上昇に見合った単価で販売して下さいと言われてましたが、こちらから「では、1本あたりどれだけのコストが上がったか教えて頂けますか？」と聞くと即答出来た産地は一つも無かったのが現状です。後日、ホクレンから各品目の一本あたりのコスト計算の返答があったぐらいでした。

全ての生産者の方がコスト計算をしていないとは言いませんが、今後コスト節減の為に各生産者が経営コストを把握し省力化・低コスト化を図り、今後の対策を行っていかねばならないと思います。

また、今後は農業に対する環境負荷にも注目が集まることは間違いないと思います。

一般消費者のアンケートでは、環境に配慮した農産物を購入したいという消費者が99%を占めていました。花についても25%の消費者が環境に配慮した花を重視しているという結果も出ています。そのような点から施設栽培でのエネルギー投入量や二酸化炭素排出量、農薬投入量、輸送等まで含めた環境対策が重要となってきます。

今後、エコファーマやMPS(花き産業総合認容プログラム)などの必要性がいずれ問われると思います。現在では認証を取得された生産者の方々にはメリットが出ていませんが、今後取得者が増えてくることによりスケールメリットとなり無視できなくなるものだと思います。

では、消費者は花にどのような付加価値を求めているのでしょうか？各方面でのアンケート結果を見ると一番の要望は「日持ちする花」が圧倒的に多く、この要望は17年前のアンケート調査時から全く変わっていないようです。現在、一部の店舗で「鮮度保証販売」なる実験が行われています。この鮮度保証販売とは切花に品質保証期間を付けて鑑賞期間を保証するというものです。このような試みは欧米などの量販店などでは何年も前から当たり前保証販売されているが日本ではようやく組織絡みで始まったばかりです。

現在では品種単位で日持ち試験室に入れ10日間の日持ち試験にクリアすると実際の保証販売となりますが、なかなかこの10日間をクリアするだけでも大変なようです。

日持ちについては生産者段階での採花バサミは清潔か？水揚げのバケツは清潔か？前処理には水道水を使用したか？などが後の日持ちに影響し、現状は当たり前のことが出来ていないのが試験販売をやってよく解りました。消費者に日持ちする花を届けるには、生産・流通・販売店が一体になり各問題点を解消しなければ、消費者の要望には答えられないと痛感しました。

愛知産青果物の動向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

名古屋市中央卸売市場（品目：いちじく）

| | 入 荷 量 (t) | | 卸 売 価 格 (円/kg) | | 前年の主な他産地 (上位3産地) |
|---|--------------|---------------|--|-------|---------------------|
| | | うち愛知産 | | うち愛知産 | |
| 20年実績 | 665 | 665 (100%) | 659 | 659 | 愛知 (100%) |
| 21年見通し | 675 | 675 | 660 | - | |
| 入荷量及び卸売価格の概要と見通し | | | 卸売市場から産地への要望・提言等 | | |
| <p>今月は露地もの中心。梅雨時の雨量が少なかったため、生育は順調で前進傾向。作付は前年並み。夏の長雨の影響で出始めは下級品も多く入荷量も不足していたが、今月は持ち直してくる。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年並みとなる見込み。</p> | | | <p>経済の低迷により、果物やし好品の消費が伸び悩んでいることから、現状の4～5玉入から3玉入にして購入単価を下げ、買いやすくする工夫が求められる。 食物繊維や鉄分が豊富な健康食品として顧客が固定化しているため、子どもに食べてもらえるデザートメニュー開発も重要である。 小規模農家では未熟なものの出荷があるので旬の時期に摘果してほしい。</p> | | |

東京都中央卸売市場（品目：ぎんなん）

| | 入 荷 量 (t) | | 卸 売 価 格 (円/kg) | | 前年の主な他産地 (上位3産地) |
|--|--------------|-------------|--|-------|--------------------------------|
| | | うち愛知産 | | うち愛知産 | |
| 20年実績 | 45 | 28 (62%) | 1,437 | 1,283 | 埼玉 (10%) 福岡 (9%) 岐阜 (7%) |
| 21年見通し | 35 | - | 1,500 | - | |
| 入荷量及び卸売価格の概要と見通し | | | 卸売市場から産地への要望・提言等 | | |
| <p>愛知産は7月から入荷が始まり、今月から本格化する。豊作だった平成19年、平成20年と比べて本年の入荷量は2～3割少ないようである。なお、品質については、小粒だった昨年と比べて果実は大きめである。福岡など他産地ものも昨年を下回る入荷量の見込みである。 入荷量は多かった前年を大幅に下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p> | | | <p>ぎんなんは秋の味覚として業務筋を中心に需要があるが、昨年から続く景気後退の影響で荷動きが悪い。 愛知産は9月から本格的に入荷が始まるが、実需者の評価は全体に高い。 出荷に際しては、L玉を中心にサイズの統一、品種別選果の徹底、カビ果や裂果の混入防止など、さらなる品質の安定を図り、安定出荷をお願いしたい。</p> | | |

名古屋・東京市場における青果物の9月の見通し

名古屋市中央卸売市場

8月18日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | | | 前年主要産地(%) (愛知産比率) | |
|--|--------------|--------|--------|-----|-----|----------------------|---------|
| | | | 上旬 | 中旬 | 下旬 | | |
| 野菜 | 16年 | 40,232 | 200 | 201 | 214 | 188 | 北海道 42% |
| | 17年 | 39,978 | 189 | 191 | 191 | 186 | 長野 20% |
| | 18年 | 40,675 | 198 | 194 | 196 | 204 | 群馬 9% |
| | 19年 | 38,002 | 195 | 188 | 198 | 199 | 青森 5% |
| | 20年 | 38,204 | 200 | 199 | 207 | 192 | |
| | 計 | 5カ年平均 | 39,418 | 196 | - | - | - |
| 21年見通し | 36,500 | 216 | - | - | - | | |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | | | | | | |
| 産地は高冷地や北海道、東北等寒冷地中心。夏の天候不良、日照不足から生育は不作傾向、入荷は不安定で、一部品目では下級品や廃棄もできる見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。 | | | | | | | |
| だいこん | 16年 | 3,130 | 95 | 78 | 91 | 115 | 北海道 57% |
| | 17年 | 2,789 | 95 | 114 | 86 | 84 | 青森 23% |
| | 18年 | 2,824 | 81 | 93 | 78 | 76 | 岐阜 10% |
| | 19年 | 2,499 | 90 | 93 | 82 | 96 | 群馬 7% |
| | 20年 | 2,311 | 101 | 75 | 119 | 111 | |
| | 計 | 5カ年平均 | 2,710 | 92 | 91 | 90 | 96 |
| 21年見通し | 2,300 | 100 | 90 | 100 | 110 | | |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | | | | | | |
| 産地は北海道、青森、岐阜。北海道、青森で6月中旬から続いた天候不順の影響も、平年並に戻る見込み。生育も前月下旬からは順調に戻る。 入荷量、価格とも前年並みとなる見込み。 | | | | | | | |
| にんじん | 16年 | 3,452 | 76 | 85 | 68 | 75 | 北海道 99% |
| | 17年 | 3,172 | 111 | 98 | 125 | 112 | 中国 1% |
| | 18年 | 3,084 | 130 | 108 | 127 | 157 | 愛知 0% |
| | 19年 | 2,623 | 110 | 105 | 125 | 99 | 京都 0% |
| | 20年 | 2,966 | 120 | 121 | 122 | 115 | |
| | 計 | 5カ年平均 | 3,060 | 108 | 103 | 112 | 111 |
| 21年見通し | 2,800 | 130 | 130 | 130 | 130 | | |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | | | | | | |
| 産地は北海道中心。作況は長雨、日照不足で生育が遅れ、肥大不足と、不作が予想される。入荷は不安定で少なめ。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。 | | | | | | | |

東京都中央卸売市場

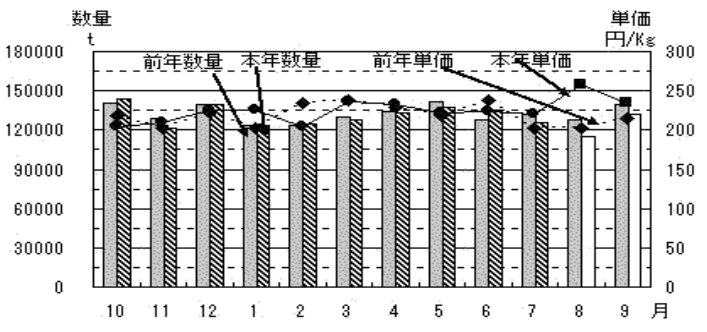
8月21日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | | | 前年主要産地(%) (愛知産比率) | |
|--------|--------------|---------|------|-----|-----|----------------------|----------------------|
| | | | 上旬 | 中旬 | 下旬 | | |
| 野菜計 | 16年 | 134,899 | 221 | 224 | 233 | 209 | 北海道 31% |
| | 17年 | 134,591 | 207 | 202 | 215 | 206 | 群馬 12% |
| | 18年 | 134,745 | 222 | 220 | 219 | 226 | 長野 12% |
| | 19年 | 130,958 | 222 | 226 | 223 | 217 | 茨城 7% |
| | 20年 | 139,146 | 215 | 220 | 220 | 205 | (愛知産比率 0%) |
| | 5カ年平均 | 134,868 | 217 | - | - | - | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き |
| 21年見通し | 132,050 | 235 | - | - | - | | |

**産地状況と
入荷量及び卸売価格の概況見通し**

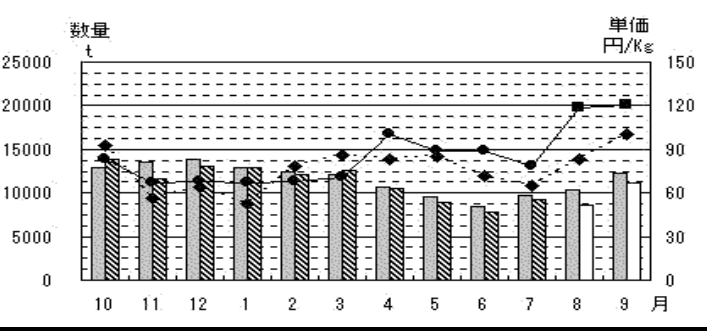
北海道から土物類や根菜類、関東高冷地からは葉茎菜類や果菜類が入荷する。生育は、盆明け後の好天により概ね順調に回復しつつあるが、日照不足の影響は大きく収量、品質の低下が懸念される。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。



| | | | | | | | |
|--------|--------|--------|-----|-----|-----|-----|----------------------|
| だいこん | 16年 | 12,586 | 87 | 76 | 83 | 101 | 北海道 63% |
| | 17年 | 12,332 | 90 | 105 | 84 | 82 | 青森 23% |
| | 18年 | 12,722 | 83 | 92 | 78 | 80 | 岩手 9% |
| | 19年 | 11,961 | 89 | 94 | 80 | 92 | 福島 2% |
| | 20年 | 12,207 | 100 | 77 | 114 | 110 | (愛知産比率 0%) |
| | 5カ年平均 | 12,362 | 90 | 89 | 88 | 93 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き |
| 21年見通し | 11,200 | 120 | 110 | 125 | 120 | | |

**産地状況と
入荷量及び卸売価格の概況見通し**

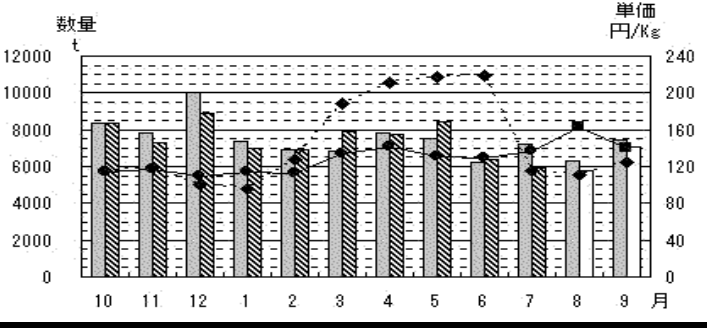
北海道と東北産地中心の入荷となる。北海道は、天候不順によりは種できなかつた時期があり9月中旬までは入荷が少ない見込み。青森、岩手も天候不順で生育が遅れており中旬まで出荷が少ない。全体の入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。



| | | | | | | | |
|--------|-------|-------|-----|-----|-----|-----|----------------------|
| にんじん | 16年 | 7,983 | 80 | 92 | 75 | 73 | 北海道 95% |
| | 17年 | 7,198 | 127 | 118 | 138 | 127 | 青森 2% |
| | 18年 | 6,888 | 151 | 129 | 148 | 173 | 中国 1% |
| | 19年 | 6,496 | 122 | 108 | 143 | 110 | 千葉 1% |
| | 20年 | 7,425 | 125 | 129 | 126 | 120 | (愛知産比率 0%) |
| | 5カ年平均 | 7,198 | 120 | 115 | 124 | 119 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き |
| 21年見通し | 7,050 | 140 | 150 | 150 | 130 | | |

**産地状況と
入荷量及び卸売価格の概況見通し**

北海道からの入荷が中心となる。北海道は、生育期の長雨の影響で肥大がやや遅れており、全体的に小ぶりとなる見込み。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。



名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | | | 前年主要産地(%) (愛知産比率) | |
|--------------------------|--------------|--|------|-----|-------|----------------------|--------------------------------------|
| | | | 上旬 | 中旬 | 下旬 | | |
| ほうきさい | 16年 | 3,490 | 85 | 82 | 93 | 83 | 長野 93% 北海道 7% 茨城 1% |
| | 17年 | 3,570 | 73 | 81 | 70 | 71 | |
| | 18年 | 3,439 | 95 | 116 | 92 | 86 | |
| | 19年 | 3,265 | 85 | 116 | 79 | 66 | |
| | 20年 | 3,058 | 86 | 83 | 92 | 85 | |
| | 5カ年平均 | 3,364 | 85 | 96 | 85 | 78 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き |
| 21年見通し | 3,000 | 90 | 87 | 90 | 93 | | |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | <p>産地は長野中心で一部北海道。7月の長雨、日照不足で芽が傷み腐敗も発生し、上旬は入荷減少。9月下旬には気温下がり需要伸び、単価が上昇する見込み。 入荷量は前年並みで、価格は前年をやや上回る見込み。</p> | | | | | |
| | | <p>数量 (トン) と単価 (円/kg) の推移。数量は10月～12月にかけて減少傾向、1月～4月に回復し、5月～9月は比較的安定。単価は10月～12月に上昇、1月～4月に急激に上昇し、5月～9月は安定傾向。</p> | | | | | |
| キャベツ | 16年 | 3,952 | 79 | 69 | 79 | 87 | 群馬 60% 長野 23% 北海道 14% 愛知 2% |
| | 17年 | 3,921 | 75 | 64 | 79 | 80 | |
| | 18年 | 4,041 | 97 | 88 | 98 | 104 | |
| | 19年 | 4,291 | 83 | 88 | 88 | 72 | |
| | 20年 | 4,391 | 70 | 62 | 79 | 70 | |
| | 5カ年平均 | 4,119 | 81 | 74 | 85 | 82 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き |
| 21年見通し | 4,000 | 85 | 85 | 85 | 85 | | |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | <p>産地は群馬を中心に、長野、北海道、愛知の高原もの。長雨の影響が残り、前年より数量は少ない見込み。産地では下級品や廃棄も出る。 入荷量は前年をかなり下回り、価格とも前年を大幅に上回る見込み。</p> | | | | | |
| | | <p>数量 (トン) と単価 (円/kg) の推移。数量は10月～12月に減少、1月～4月に回復、5月～9月は減少傾向。単価は10月～12月に上昇、1月～4月に急激に上昇、5月～9月は安定傾向。</p> | | | | | |
| ほうれんそう | 16年 | 257 | 801 | 869 | 1,011 | 652 | 岐阜 71% 愛知 13% 北海道 8% 長野 5% |
| | 17年 | 256 | 839 | 920 | 843 | 775 | |
| | 18年 | 243 | 839 | 933 | 768 | 846 | |
| | 19年 | 230 | 862 | 811 | 981 | 800 | |
| | 20年 | 250 | 738 | 713 | 956 | 595 | |
| | 5カ年平均 | 247 | 815 | 850 | 912 | 732 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き |
| 21年見通し | 250 | 800 | 800 | 800 | 800 | | |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | <p>産地は岐阜を中心に、愛知、北海道、長野から一部入荷。岐阜は天候不順で多湿となり、生育は前進傾向。品種の切り替わり時期で一時的に入荷が減少する見込み。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり上回る見込み。</p> | | | | | |
| | | <p>数量 (トン) と単価 (円/kg) の推移。数量は10月～12月に減少、1月～4月に回復、5月～9月は減少傾向。単価は10月～12月に上昇、1月～4月に急激に上昇、5月～9月は安定傾向。</p> | | | | | |

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | | | 前年主要産地(%) (愛知産比率) | |
|--------------------------|--------------|--|------|-----|-----|----------------------|--|
| | | | 上旬 | 中旬 | 下旬 | | |
| ほうき | 16年 | 8,119 | 73 | 69 | 78 | 72 | 長野 86% 北海道 7% 群馬 5% 茨城 2% (愛知産比率 0%) |
| | 17年 | 8,709 | 65 | 68 | 63 | 65 | |
| | 18年 | 8,592 | 93 | 119 | 91 | 82 | |
| | 19年 | 8,307 | 77 | 118 | 70 | 53 | |
| | 20年 | 8,197 | 77 | 72 | 82 | 78 | |
| | 5ヵ年平均 | 8,385 | 77 | 89 | 77 | 70 | |
| 21年見通し | 7,800 | 92 | 90 | 92 | 95 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き | |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | <p>長野からの入荷が中心となる。長野は、盆前頃まで続いた長雨の影響で軟腐病等病害の発生が多い。また、玉伸びも悪く小玉傾向になる見込み。 全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は大幅に上回る見込み。</p> | | | | | |
| | | <p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の推移。数量は10月～12月にかけて増加傾向にあり、1月～4月にかけて減少傾向にあり、5月～9月にかけて増加傾向にあり。単価は10月～12月にかけて増加傾向にあり、1月～4月にかけて減少傾向にあり、5月～9月にかけて増加傾向にあり。</p> | | | | | |
| キャベツ | 16年 | 14,919 | 73 | 65 | 73 | 79 | 群馬 72% 岩手 13% 北海道 10% 青森 2% (愛知産比率 -%) |
| | 17年 | 14,572 | 71 | 62 | 76 | 77 | |
| | 18年 | 14,262 | 98 | 91 | 100 | 103 | |
| | 19年 | 14,472 | 84 | 92 | 88 | 72 | |
| | 20年 | 15,616 | 67 | 58 | 74 | 80 | |
| | 5ヵ年平均 | 14,768 | 78 | 73 | 82 | 82 | |
| 21年見通し | 14,800 | 78 | 85 | 80 | 75 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き | |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | <p>前月に引き続き群馬からの入荷が中心になる。群馬は日照不足の影響で、玉肥大が悪く小玉傾向。岩手は定植遅れの影響で生育が遅れている。北海道は8月の好天候で生育が回復し平年並みの出荷。 入荷量は前年をやや下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p> | | | | | |
| | | <p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の推移。数量は10月～12月にかけて増加傾向にあり、1月～4月にかけて減少傾向にあり、5月～9月にかけて増加傾向にあり。単価は10月～12月にかけて増加傾向にあり、1月～4月にかけて減少傾向にあり、5月～9月にかけて増加傾向にあり。</p> | | | | | |
| ほうれんそう | 16年 | 1,364 | 635 | 717 | 845 | 468 | 群馬 22% 栃木 21% 茨城 20% 岩手 17% (愛知産比率 0%) |
| | 17年 | 1,128 | 719 | 816 | 821 | 586 | |
| | 18年 | 1,154 | 724 | 843 | 616 | 741 | |
| | 19年 | 1,015 | 764 | 776 | 844 | 682 | |
| | 20年 | 1,126 | 664 | 793 | 763 | 483 | |
| | 5ヵ年平均 | 1,157 | 697 | 787 | 779 | 586 | |
| 21年見通し | 1,100 | 700 | 710 | 700 | 690 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き | |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | <p>関東高冷地と岩手からの入荷となる。群馬は今のところ、は種・生育は順調。栃木(高冷地)、岩手は、朝晩の低温もあり今後、順調な生育が予想される。 全体の入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p> | | | | | |
| | | <p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の推移。数量は10月～12月にかけて増加傾向にあり、1月～4月にかけて減少傾向にあり、5月～9月にかけて増加傾向にあり。単価は10月～12月にかけて増加傾向にあり、1月～4月にかけて減少傾向にあり、5月～9月にかけて増加傾向にあり。</p> | | | | | |

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | | | 前年主要産地(%) (愛知産比率) | |
|--|--------------|-------|------|-----|-----|----------------------|---------|
| | | | 上旬 | 中旬 | 下旬 | | |
| ね | 16年 | 1,058 | 387 | 379 | 424 | 367 | 北海道 42% |
| | 17年 | 1,000 | 350 | 342 | 344 | 363 | 愛知 11% |
| | 18年 | 950 | 385 | 376 | 388 | 390 | 富山 10% |
| | 19年 | 992 | 411 | 371 | 405 | 452 | 長野 7% |
| | 20年 | 1,166 | 372 | 387 | 357 | 374 | |
| | 5カ年平均 | 1,033 | 381 | 372 | 383 | 388 | |
| ぎ | 21年見通し | 1,000 | 400 | 400 | 400 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き | |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | | | | | | |
| 産地は愛知の長ねぎ、北海道、富山の白ねぎ、北海道の軟白など。生育は、7～8月の低温長雨で北海道は品質劣化、太さ不足で不作傾向。愛知は回復見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。 | | | | | | | |
| し た ス | 16年 | 1,989 | 168 | 159 | 225 | 133 | 長野 98% |
| | 17年 | 2,185 | 155 | 149 | 184 | 134 | 茨城 1% |
| | 18年 | 2,591 | 134 | 132 | 121 | 153 | 北海道 1% |
| | 19年 | 2,385 | 166 | 141 | 157 | 208 | 愛知 0% |
| | 20年 | 1,873 | 228 | 227 | 263 | 189 | |
| | 5カ年平均 | 2,204 | 167 | 158 | 184 | 164 | |
| ス | 21年見通し | 1,800 | 200 | 200 | 200 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き | |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | | | | | | |
| 産地は長野中心で一部北海道。7月の長雨の影響で生育が遅れ気味だが、下旬に回復する見通し。南佐久から北佐久のものに移行する。 入荷量は前年をやや下回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。 | | | | | | | |
| き ゆ う り | 16年 | 1,764 | 333 | 425 | 387 | 240 | 長野 24% |
| | 17年 | 1,898 | 243 | 260 | 268 | 199 | 群馬 23% |
| | 18年 | 2,316 | 221 | 166 | 233 | 276 | 北海道 18% |
| | 19年 | 1,692 | 260 | 297 | 268 | 217 | 山梨 17% |
| | 20年 | 1,690 | 252 | 279 | 245 | 230 | |
| | 5カ年平均 | 1,872 | 259 | 278 | 278 | 235 | |
| り | 21年見通し | 1,600 | 280 | 300 | 280 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き | |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | | | | | | |
| 産地は長野、群馬、山梨、北海道。夏秋ものの末期。7～8月の天候不順で早めに切り上がる見込みで、次の産地はすぐには始まらない。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。 | | | | | | | |

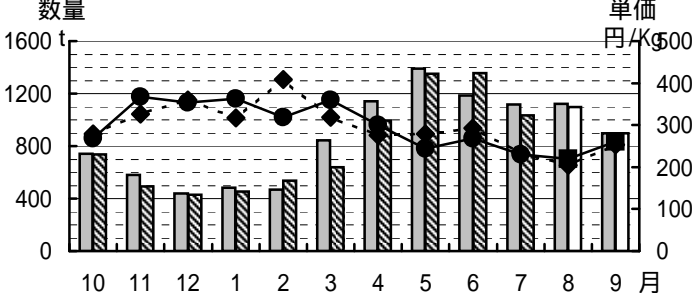
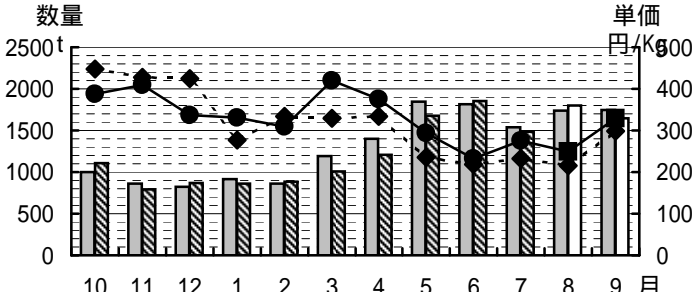
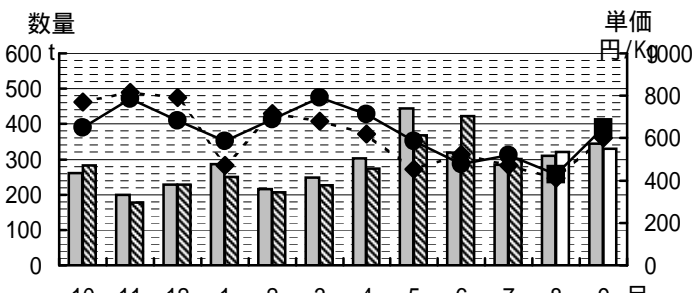
東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | | | 前年主要産地(%) (愛知産比率) | | |
|------------------|--------------|---|------|-----|-----|----------------------|----------------------|--|
| | | | 上旬 | 中旬 | 下旬 | | | |
| ね | 16年 | 4,709 | 295 | 283 | 312 | 292 | 青森 32% | |
| | 17年 | 4,814 | 248 | 240 | 275 | 232 | 北海道 16% | |
| | 18年 | 4,817 | 266 | 240 | 282 | 273 | 秋田 13% | |
| | 19年 | 4,501 | 337 | 314 | 340 | 356 | 茨城 10% | |
| | 20年 | 5,495 | 251 | 262 | 251 | 238 | (愛知産比率 -%) | |
| | 5ヵ年平均 | 4,867 | 278 | 267 | 290 | 276 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き | |
| ぎ | 21年見通し | 5,200 | 300 | 310 | 300 | 290 | | |
| | | 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | | | | | |
| | | <p>青森、北海道からの入荷が増える。青森は日照不足の影響から回復し平年並に戻る見込み。北海道、秋田も生育は回復してきているが、出荷量は減少する見込み。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p> | | | | | | |
| し た ス | 16年 | 8,379 | 167 | 159 | 219 | 132 | 長野 84% | |
| | 17年 | 8,831 | 146 | 137 | 178 | 127 | 群馬 7% | |
| | 18年 | 9,100 | 133 | 130 | 118 | 150 | 茨城 3% | |
| | 19年 | 8,660 | 168 | 140 | 168 | 199 | 岩手 3% | |
| | 20年 | 7,678 | 234 | 245 | 270 | 182 | (愛知産比率 0%) | |
| | 5ヵ年平均 | 8,530 | 168 | 160 | 188 | 157 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き | |
| ス | 21年見通し | 7,300 | 230 | 240 | 230 | 220 | | |
| | | 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | | | | | |
| | | <p>前月に引き続き、長野からの入荷が中心となる。長野は長雨と病害の影響で盆明けの入荷が3割減少しており、9月においても小玉傾向は続く。群馬も天候不順の影響が残り小玉傾向。 入荷量は少なかった前年をやや下回り、価格は高かった前年並み。</p> | | | | | | |
| き ゆ う り | 16年 | 7,759 | 295 | 390 | 345 | 191 | 福島 28% | |
| | 17年 | 7,946 | 228 | 241 | 253 | 187 | 岩手 13% | |
| | 18年 | 7,497 | 249 | 264 | 228 | 256 | 埼玉 12% | |
| | 19年 | 7,692 | 233 | 274 | 231 | 188 | 茨城 12% | |
| | 20年 | 8,352 | 223 | 255 | 201 | 212 | (愛知産比率 0%) | |
| | 5ヵ年平均 | 7,849 | 245 | 284 | 251 | 206 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き | |
| り | 21年見通し | 7,900 | 250 | 260 | 220 | 230 | | |
| | | 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | | | | | |
| | | <p>東北産地から関東産地への移行時期となる。福島、岩手の生育は盆明け後の好天で回復傾向にあるが、入荷量はやや減少する見込み。埼玉の生育は順調。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p> | | | | | | |

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | | | 前年主要産地(%) (愛知産比率) | |
|---|--------------|-------|--|-----|-----|----------------------|----------------------|
| | | | 上旬 | 中旬 | 下旬 | | |
| な す | 16年 | 1,015 | 316 | 402 | 364 | 226 | 愛知 25% |
| | 17年 | 1,005 | 268 | 242 | 295 | 271 | 山梨 24% |
| | 18年 | 882 | 263 | 204 | 260 | 360 | 徳島 16% |
| | 19年 | 959 | 252 | 188 | 291 | 294 | 群馬 9% |
| | 20年 | 900 | 252 | 287 | 238 | 228 | |
| | 5カ年平均 | 952 | 271 | 267 | 292 | 275 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き |
| | 21年見通し | 900 | 260 | 270 | 250 | 260 | |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | |  | | | | |
| 産地は愛知、山梨、徳島の干両、長なすの群馬。徳島は台風9号の影響大きく出荷不安定だが他は順調で、秋なすの前触れで順調に入荷する。 入荷量は前年並みで、価格は前年をやや上回る見込み。 | | | | | | | |
| ト マ ト | 16年 | 1,580 | 380 | 373 | 379 | 388 | 岐阜 46% |
| | 17年 | 1,698 | 331 | 374 | 277 | 338 | 北海道 17% |
| | 18年 | 1,547 | 397 | 392 | 390 | 410 | 千葉 8% |
| | 19年 | 1,716 | 348 | 369 | 335 | 339 | 青森 8% |
| | 20年 | 1,748 | 299 | 349 | 261 | 296 | |
| | 5カ年平均 | 1,658 | 349 | 371 | 326 | 352 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き |
| | 21年見通し | 1,650 | 330 | 350 | 300 | 350 | |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | |  | | | | |
| 全月に日照不足、長雨の影響で入荷量が減少したため、遅れた分が上中旬に入荷する見込み。北海道で雨の影響から入荷量が不安定な産地も出る。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。 | | | | | | | |
| ト ミ マ ト | 16年 | 230 | 850 | 865 | 869 | 818 | 北海道 71% |
| | 17年 | 284 | 742 | 638 | 796 | 820 | 茨城 9% |
| | 18年 | 342 | 734 | 596 | 728 | 910 | 愛知 7% |
| | 19年 | 302 | 711 | 597 | 705 | 868 | |
| | 20年 | 345 | 600 | 743 | 642 | 434 | |
| | 5カ年平均 | 300 | 718 | 679 | 738 | 761 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き |
| | 21年見通し | 330 | 650 | 650 | 650 | 650 | |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | |  | | | | |
| 産地は北海道中心。7月の長雨で全体的に生育が遅れているが、中下旬には回復する見込み。作柄は小玉傾向で量も少ない。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。 | | | | | | | |

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | | | 前年主要産地(%) (愛知産比率) | |
|-----------------------|--------------|--|------|-----|-----|----------------------|----------------------|
| | | | 上旬 | 中旬 | 下旬 | | |
| な す | 16年 | 4,789 | 268 | 341 | 305 | 195 | 栃木 33% |
| | 17年 | 4,398 | 255 | 207 | 259 | 316 | 茨城 22% |
| | 18年 | 4,490 | 249 | 178 | 261 | 342 | 群馬 21% |
| | 19年 | 4,070 | 283 | 199 | 336 | 349 | 埼玉 8% |
| | 20年 | 4,995 | 220 | 232 | 201 | 230 | (愛知産比率 -%) |
| | 5ヵ年平均 | 4,548 | 254 | 234 | 270 | 283 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き |
| | 21年見通し | 4,800 | 268 | 280 | 280 | 260 | |
| | | 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | | | | |
| | | <p>関東産地からの入荷が中心となる。各産地ともに盆前までの日照不足で品質、肥大がやや不良。また、病害の発生もやや多い。 入荷量は前年並みで、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p> | | | | | |
| ト マ ト | 16年 | 9,224 | 300 | 280 | 312 | 314 | 青森 21% |
| | 17年 | 9,071 | 268 | 298 | 231 | 276 | 千葉 16% |
| | 18年 | 8,406 | 333 | 354 | 307 | 348 | 福島 14% |
| | 19年 | 9,020 | 299 | 329 | 274 | 294 | 茨城 14% |
| | 20年 | 9,368 | 265 | 312 | 227 | 260 | (愛知産比率 1%) |
| | 5ヵ年平均 | 9,018 | 292 | 314 | 270 | 297 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き |
| | 21年見通し | 9,000 | 305 | 300 | 290 | 320 | |
| | | 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | | | | |
| | | <p>東北と関東産地からの入荷が中心となる。青森は日照不足の影響で着果がやや悪い。千葉の生育は概ね順調。福島は着果不良で小玉傾向。茨城の生育は回復し平年並の予想。 全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。</p> | | | | | |
| ミ ニ ト マ ト | 16年 | 1,096 | 665 | 737 | 726 | 562 | 茨城 30% |
| | 17年 | 1,049 | 640 | 597 | 690 | 644 | 北海道 21% |
| | 18年 | 1,197 | 681 | 608 | 641 | 797 | 岩手 10% |
| | 19年 | 1,185 | 628 | 525 | 675 | 694 | 千葉 10% |
| | 20年 | 1,345 | 531 | 671 | 518 | 423 | (愛知産比率 2%) |
| | 5ヵ年平均 | 1,174 | 626 | 628 | 644 | 619 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き |
| | 21年見通し | 1,250 | 635 | 630 | 640 | 630 | |
| | | 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | | | | |
| | | <p>北海道、東北産地と関東産地からの入荷が中心となる。茨城、千葉は日照不足の影響でやや着色が遅れていたが回復。北海道も8月に入り好天に恵まれ回復しつつある。入荷量は多かった前年をかなり下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p> | | | | | |

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | | | 前年主要産地(%) (愛知産比率) | |
|--------------------------|--------------|--|------|-----|-----|----------------------|----------------------|
| | | | 上旬 | 中旬 | 下旬 | | |
| ピーマン | 16年 | 563 | 328 | 324 | 334 | 326 | 岩手 52% |
| | 17年 | 640 | 262 | 217 | 290 | 292 | 北海道 29% |
| | 18年 | 543 | 339 | 349 | 363 | 312 | 福島 6% |
| | 19年 | 506 | 363 | 355 | 393 | 338 | 青森 5% |
| | 20年 | 625 | 240 | 276 | 249 | 197 | (愛知産比率 0%) |
| マ | 5カ年平均 | 575 | 302 | 300 | 322 | 290 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き |
| | 21年見通し | 550 | 320 | 320 | 320 | 320 | |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | <p>産地は東北、北海道中心で、細かい数量を出してくる産地もある。夏の天候不順の影響があり不作傾向。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p> | | | | | |
| | | | | | | | |
| ばれいしょ | 16年 | 3,714 | 98 | 105 | 100 | 92 | 北海道 91% |
| | 17年 | 3,608 | 101 | 107 | 100 | 95 | 青森 8% |
| | 18年 | 3,863 | 96 | 101 | 97 | 91 | 長崎 1% |
| | 19年 | 2,964 | 77 | 79 | 79 | 72 | 千葉 0% |
| | 20年 | 3,040 | 90 | 95 | 91 | 83 | (愛知産比率 0%) |
| い | 5カ年平均 | 3,438 | 93 | 98 | 94 | 87 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き |
| | 21年見通し | 3,000 | 110 | 120 | 110 | 105 | |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | <p>北海道、青森の残量。青森の男爵は終了、メイクインの残りのみ。小玉で減収。北海道は男爵、きたあかりの黄色いもの出る。作況悪く、小玉、下級品が多く出ることが見込まれる。 入荷量は前年並みで、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p> | | | | | |
| | | | | | | | |
| たまねぎ | 16年 | 5,311 | 82 | 83 | 88 | 77 | 北海道 76% |
| | 17年 | 4,655 | 80 | 76 | 82 | 81 | 兵庫 18% |
| | 18年 | 5,501 | 82 | 80 | 84 | 80 | 佐賀 3% |
| | 19年 | 5,112 | 64 | 63 | 65 | 64 | 中国 1% |
| | 20年 | 4,804 | 80 | 78 | 81 | 81 | |
| ね | 5カ年平均 | 5,076 | 78 | 76 | 80 | 77 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き |
| | 21年見通し | 4,700 | 90 | 100 | 90 | 80 | |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | <p>産地は北海道中心。兵庫は上旬で切り上げ。作況は上旬不安定に。雨で下等級品多いと予想される。単価は徐々に安定していくが、平年よりは高い見込み。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p> | | | | | |
| | | | | | | | |

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | | | 前年主要産地(%) (愛知産比率) | |
|--------------------------|--------------|---|------|-----|-----|----------------------|----------------------|
| | | | 上旬 | 中旬 | 下旬 | | |
| ピーマン | 16年 | 2,432 | 250 | 262 | 265 | 228 | 岩手 38% |
| | 17年 | 2,523 | 191 | 166 | 216 | 195 | 茨城 38% |
| | 18年 | 2,427 | 294 | 307 | 297 | 278 | 福島 12% |
| | 19年 | 2,272 | 320 | 324 | 365 | 271 | 青森 10% |
| | 20年 | 2,479 | 200 | 240 | 190 | 169 | (愛知産比率 0%) |
| マン | 5カ年平均 | 2,427 | 249 | 258 | 265 | 227 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き |
| | 21年見通し | 2,250 | 320 | 330 | 320 | 310 | |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | <p>茨城と東北産地からの入荷が中心となる。岩手、福島は日照不足と降雨の影響で草勢が低下しており、まとまった出荷は期待できない。茨城の着果は概ね順調。青森は回復傾向にあり昨年並みの予想。入荷量は前年をかなり下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p> | | | | | |
| | | | | | | | |
| ばいしよ | 16年 | 6,595 | 114 | 116 | 115 | 111 | 北海道 94% |
| | 17年 | 7,303 | 116 | 122 | 117 | 109 | 青森 3% |
| | 18年 | 7,423 | 113 | 114 | 114 | 112 | 茨城 1% |
| | 19年 | 7,416 | 86 | 91 | 86 | 80 | 千葉 1% |
| | 20年 | 7,601 | 106 | 108 | 108 | 101 | (愛知産比率 0%) |
| いしよ | 5カ年平均 | 7,268 | 107 | 110 | 108 | 102 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き |
| | 21年見通し | 7,450 | 120 | 130 | 120 | 105 | |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | <p>北海道からの入荷が中心となる。北海道は8月の好天で収穫作業が順調に進み、入荷量はほぼ平年並みの予想。一方、生育期の天候不順の影響により肥大はやや悪いようである。入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり上回る見込み。</p> | | | | | |
| | | | | | | | |
| たまねぎ | 16年 | 10,623 | 89 | 89 | 91 | 89 | 北海道 82% |
| | 17年 | 10,366 | 88 | 84 | 91 | 88 | 兵庫 10% |
| | 18年 | 11,350 | 87 | 84 | 87 | 90 | 中国 3% |
| | 19年 | 10,910 | 71 | 72 | 72 | 68 | 佐賀 3% |
| | 20年 | 11,478 | 84 | 84 | 86 | 82 | (愛知産比率 0%) |
| ねぎ | 5カ年平均 | 10,945 | 84 | 83 | 85 | 83 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き |
| | 21年見通し | 11,000 | 98 | 115 | 95 | 90 | |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | <p>北海道中心の入荷となる。北海道は8月の好天で収穫作業は順調に進んできているが、天候不順の影響で小玉傾向にある。兵庫は7月まで前倒し出荷をしてきており、在庫量は前年を大きく下回る。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p> | | | | | |
| | | | | | | | |

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | | | 前年主要産地(%) (愛知産比率) | |
|--------------------------|--------------|---|------|-----|-----|----------------------|----------------------|
| | | | 上旬 | 中旬 | 下旬 | | |
| 果 実 計 | 16年 | 16,185 | 289 | 288 | 287 | 291 | 長野 22% |
| | 17年 | 16,464 | 286 | 293 | 285 | 280 | フィリピン 14% |
| | 18年 | 13,894 | 339 | 359 | 341 | 321 | 愛知 13% |
| | 19年 | 12,977 | 346 | 361 | 342 | 334 | 山形 12% |
| | 20年 | 13,757 | 280 | 273 | 297 | 268 | |
| | 5ヵ年平均 | 14,655 | 306 | - | - | - | |
| | 21年見通し | 13,500 | 290 | - | - | - | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | <p>秋の果実が出回る時期。夏の天候不順、日照不足の影響から小玉傾向。全体として入荷は少なめだが、消費が低迷していることから低価格傾向。入荷量は前年並みで、価格は前年をやや上回る見込み。</p> | | | | | |
| | | | | | | | |
| み か ん | 16年 | 2,135 | 354 | 485 | 419 | 304 | 三重 28% |
| | 17年 | 2,012 | 371 | 569 | 446 | 277 | 愛知 18% |
| | 18年 | 1,367 | 447 | 602 | 490 | 376 | 佐賀 17% |
| | 19年 | 1,432 | 431 | 586 | 483 | 335 | 宮崎 12% |
| | 20年 | 1,566 | 334 | 467 | 387 | 264 | |
| | 5ヵ年平均 | 1,702 | 382 | 537 | 442 | 307 | |
| | 21年見通し | 1,550 | 330 | 350 | 330 | 310 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | <p>産地は三重、九州各地が中心、愛媛は水不足。今年は表年で花多く、作柄良好、作付面積は減少傾向。入荷は小玉中心。上旬は単価上がるが、中下旬は下落する見込み。入荷量、価格とも前年並みとなる見込み。</p> | | | | | |
| | | | | | | | |
| な し | 16年 | 2,851 | 261 | 227 | 253 | 333 | 長野 69% |
| | 17年 | 3,863 | 228 | 219 | 218 | 251 | 愛知 9% |
| | 18年 | 3,057 | 301 | 321 | 296 | 285 | 富山 6% |
| | 19年 | 2,852 | 297 | 304 | 284 | 300 | 福島 5% |
| | 20年 | 2,959 | 222 | 227 | 233 | 206 | |
| | 5ヵ年平均 | 3,116 | 260 | 258 | 255 | 273 | |
| | 21年見通し | 2,800 | 250 | 260 | 250 | 240 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | <p>産地は長野、愛知、佐賀、新潟。夏までの天候不順により作柄は不良、長野は前倒して出荷するため、今月は前月の残量。産地で出荷量減らしており、品薄が予想される。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p> | | | | | |
| | | | | | | | |

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | | | 前年主要産地(%) (愛知産比率) | |
|--------------------------|--------------|---|------|-----|-----|----------------------|----------------------|
| | | | 上旬 | 中旬 | 下旬 | | |
| 果実計 | 16年 | 47,077 | 272 | 254 | 275 | 285 | 福島 10% |
| | 17年 | 49,871 | 266 | 271 | 274 | 253 | フィリピン 9% |
| | 18年 | 43,576 | 321 | 334 | 325 | 337 | 長野 9% |
| | 19年 | 39,630 | 327 | 334 | 351 | 320 | 茨城 9% |
| | 20年 | 47,979 | 265 | 258 | 279 | 256 | (愛知産比率 1%) |
| | 5ヵ年平均 | 45,627 | 288 | - | - | - | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き |
| | 21年見通し | 49,000 | 260 | - | - | - | |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | <p>なし、りんご、ぶどう、みかんなどが入荷する。りんごは長野の雹害の影響が懸念されるも全体的に生育は前進傾向である。ぶどうは多様な大粒系品種が潤沢に入荷の見込み。巨峰の品質は安定している。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年並みの見込み。</p> | | | | | |
| | | | | | | | |
| みか | 16年 | 5,371 | 317 | 466 | 365 | 268 | 宮崎 38% |
| | 17年 | 4,940 | 334 | 569 | 379 | 244 | 佐賀 25% |
| | 18年 | 4,232 | 397 | 544 | 415 | 343 | 熊本 7% |
| | 19年 | 4,487 | 338 | 507 | 345 | 274 | 愛媛 7% |
| | 20年 | 4,714 | 296 | 478 | 320 | 238 | (愛知産比率 3%) |
| | 5ヵ年平均 | 4,749 | 335 | 511 | 364 | 272 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き |
| | 21年見通し | 4,900 | 300 | 500 | 300 | 250 | |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | <p>ハウスものの終盤を迎え、露地の「極早生」入荷が本格化する。「極早生」の生育は順調である。今年は表年にあたり、生産増が見込まれる。宮崎は平年並みの着果量であり前年並みの入荷見込み。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並みの見込み。</p> | | | | | |
| | | | | | | | |
| なし | 16年 | 13,544 | 217 | 188 | 216 | 256 | 福島 26% |
| | 17年 | 15,331 | 204 | 206 | 194 | 211 | 栃木 24% |
| | 18年 | 11,636 | 278 | 298 | 277 | 261 | 茨城 18% |
| | 19年 | 11,262 | 279 | 276 | 269 | 299 | 千葉 16% |
| | 20年 | 14,772 | 198 | 194 | 207 | 190 | (愛知産比率 -%) |
| | 5ヵ年平均 | 13,309 | 231 | 228 | 229 | 239 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き |
| | 21年見通し | 14,000 | 200 | 200 | 200 | 200 | |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | <p>福島から「幸水」、栃木、茨城などから「豊水」中心に入荷する。全体的に生育順調で大玉傾向だが、栃木は多かった前年を下回る入荷見込みである。茨城は生育が3~5日前進化している。 入荷量は多かった前年をやや下回り、価格は前年並みの見込み。</p> | | | | | |
| | | | | | | | |

切花・鉢花の9月の見通し

切花（地方卸売市場ヤマエ生花市場）

8月24日現在）

単位：千本、円/本

| 品目 | 区分 | | 入荷量 | 卸売価格 | 前年及び本年の入荷量・価格の動き |
|-----------------|---|-------|-------|------|------------------|
| | 実績等 | | | | |
| 輪 ぎ | 実績 | 16年 | 1,058 | 49 | |
| | | 17年 | 1,099 | 54 | |
| | | 18年 | 1,259 | 54 | |
| | | 19年 | 1,030 | 56 | |
| | | 20年 | 1,264 | 36 | |
| | 5ヶ年平均 | 1,142 | 49 | | |
| 21年見通し | 1,100 | 50 | | | |
| 概要 | <p>愛知、長野を中心に入荷。白菊は「岩の白扇」「優花」、黄菊は「深志の匠」等が中心品種。愛知は生育順調、長野は7、8月の長雨で露地物に影響が出ると思われ、前年を下回る入荷予想。価格は前半は弱めの動きも、後半は彼岸需要もあり堅調な動きになる。</p> | | | | |
| 小 ぎ | 実績 | 16年 | 1,213 | 29 | |
| | | 17年 | 1,291 | 31 | |
| | | 18年 | 1,278 | 29 | |
| | | 19年 | 1,225 | 34 | |
| | | 20年 | 1,450 | 22 | |
| | 5ヶ年平均 | 1,291 | 29 | | |
| 21年見通し | 1,350 | 30 | | | |
| 概要 | <p>愛知、長野を中心に奈良等からも入荷。前月までの前進傾向は続いているため、上旬に入荷の集中が懸念される。価格は、上旬に多めの入荷が予想され動きはやや軟調、中旬以降は彼岸需要もあり、堅調な動きとなる。</p> | | | | |
| カー ネー ション | 実績 | 16年 | 625 | 46 | |
| | | 17年 | 819 | 42 | |
| | | 18年 | 667 | 45 | |
| | | 19年 | 677 | 44 | |
| | | 20年 | 595 | 43 | |
| | 5ヶ年平均 | 677 | 44 | | |
| 21年見通し | 610 | 42 | | | |
| 概要 | <p>長野、北海道を中心に入荷。各産地とも生育は順調に推移している。春定植の一回切りが上旬を中心に回回り、増量となる。価格は、上旬は需要少なく動きが鈍いが、中・下旬は敬老の日、彼岸等需要の拡大により堅調な動きとなる。</p> | | | | |
| か す み | 実績 | 16年 | 37 | 119 | |
| | | 17年 | 63 | 93 | |
| | | 18年 | 48 | 112 | |
| | | 19年 | 55 | 84 | |
| | | 20年 | 44 | 100 | |
| | 5ヶ年平均 | 49 | 100 | | |
| 21年見通し | 50 | 105 | | | |
| 概要 | <p>福島、北海道から入荷。各産地とも生育は順調で、新植ものが出回る。気温の低下に伴い品質も良くなる。価格は、敬老の日、ブライダル等需要の拡大により、堅調な取引展開となる。</p> | | | | |

単位：千本、円/本

| 品目 | 区分 | | 入荷量 | 卸売価格 | 前年及び本年の入荷量・価格の動き |
|-------------|--|-----|-------|------|------------------|
| | 実績等 | | | | |
| ゆ り | 実績 | 16年 | 198 | 177 | |
| | | 17年 | 217 | 162 | |
| | | 18年 | 201 | 179 | |
| | | 19年 | 216 | 175 | |
| | | 20年 | 235 | 158 | |
| | 5ヶ年平均 | | 213 | 170 | |
| | 21年見通し | | 240 | 160 | |
| 概要 | てっぼうゆりは兵庫、徳島から入荷。兵庫の「新てっぼうゆり」は出荷のピークを過ぎ徐々に減少、品薄となり強めの動き。オリエンタル系は新潟・北海道を中心に抑制ものの出荷が本格的に始まり、品種・数量ともに安定した入荷。前半はやや苦しい動きも、後半は需要も増大し堅調な動きとなろう。 | | | | |
| 洋 ら ん | 実績 | 16年 | 343 | 65 | |
| | | 17年 | 361 | 62 | |
| | | 18年 | 368 | 66 | |
| | | 19年 | 330 | 69 | |
| | | 20年 | 348 | 58 | |
| | 5ヶ年平均 | | 350 | 64 | |
| | 21年見通し | | 350 | 65 | |
| 概要 | 愛知、宮崎、徳島、沖縄、静岡等と輸入物が入荷。国内産は、気温の低下とともに質・量とも生育順調。輸入ものもデンファレ・オンシジウム・アンズリウム等順調に入荷。価格は、コショウラン、カトレアは業務需要により堅調。輸入デンファレも彼岸需要で堅調な動きとなろう。 | | | | |
| ば ら | 実績 | 16年 | 480 | 55 | |
| | | 17年 | 442 | 60 | |
| | | 18年 | 408 | 68 | |
| | | 19年 | 349 | 65 | |
| | | 20年 | 395 | 63 | |
| | 5ヶ年平均 | | 415 | 62 | |
| | 21年見通し | | 400 | 62 | |
| 概要 | 愛知、岐阜、三重、和歌山、長野等から入荷。高冷地部は徐々に減少し、暖地ものが中下旬から増加。品質的には下位級が多く上位級は少なめ。価格は、敬老の日やプライダル等の需要拡大により上位級を中心に引き合い強く、堅調な動きとなろう。 | | | | |
| 枝 も の | 実績 | 16年 | 1,279 | 34 | |
| | | 17年 | 1,309 | 35 | |
| | | 18年 | 1,252 | 36 | |
| | | 19年 | 1,170 | 37 | |
| | | 20年 | 1,238 | 34 | |
| | 5ヶ年平均 | | 1,250 | 35 | |
| | 21年見通し | | 1,300 | 35 | |
| 概要 | 静岡、愛知、岐阜、長野等から入荷。野ばら、さんざし、梅もどき等の実ものや、どうだん、まんさく、夏はぜ等の山取りものが中旬以降増加する。価格は季節感のあるものを中心に引き合い強い。彼岸需要により、しきみ、榊、ひさかき等の引き合いも強まる。 | | | | |

| 品目 | 区分 | | 入荷量 | 卸売価格 | 前年及び本年の入荷量・価格の動き |
|--------|---|-----|--------|------|------------------|
| | 実績等 | | | | |
| ドラセナ類 | 実績 | 16年 | 53,895 | 589 | |
| | | 17年 | 52,895 | 556 | |
| | | 18年 | 38,619 | 692 | |
| | | 19年 | 46,156 | 508 | |
| | | 20年 | 35,676 | 592 | |
| | 5ヶ年平均 | | 45,448 | 583 | |
| | 21年見通し | | 33,000 | 580 | |
| 概要 | <p>入荷量はやや減少か。定番のユッカ、マッサンの中鉢(6~7号鉢)が中心となりそうである。 昨年9月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(52%)、2位鹿児島(19%)、3位沖縄(13%)となっている。</p> | | | | |
| オンシジウム | 実績 | 16年 | 16,832 | 853 | |
| | | 17年 | 10,731 | 922 | |
| | | 18年 | 10,188 | 921 | |
| | | 19年 | 8,328 | 917 | |
| | | 20年 | 12,115 | 850 | |
| | 5ヶ年平均 | | 11,639 | 886 | |
| | 21年見通し | | 12,000 | 800 | |
| 概要 | <p>生産量の減少は止まらず、一段と減少傾向にあるが、ミニ系品種の早出しものが始まるので、入荷量は昨年並みか。ただ、単価面は今年も厳しい動きが予想される。 昨年9月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(62%)、2位長崎(9%)、3位(7%)となっている。</p> | | | | |
| アンスリウム | 実績 | 16年 | 16,453 | 733 | |
| | | 17年 | 14,039 | 937 | |
| | | 18年 | 15,540 | 978 | |
| | | 19年 | 16,906 | 926 | |
| | | 20年 | 18,144 | 849 | |
| | 5ヶ年平均 | | 16,216 | 881 | |
| | 21年見通し | | 16,000 | 830 | |
| 概要 | <p>入荷量はやや減少か。敬老の日需要で4号の小鉢と8~10号の大鉢の動きが良さそうである。 昨年9月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(99%)、2位三重(1%)となっている。</p> | | | | |

単位：鉢、円／鉢

| 品目 | 区分 | | 入荷量 | 卸売価格 | 前年及び本年の入荷量・価格の動き |
|----------|---|-----|---------|------|------------------|
| | 実績等 | | | | |
| シャコバサボテン | 実績 | 16年 | 82,637 | 379 | |
| | | 17年 | 78,618 | 387 | |
| | | 18年 | 81,481 | 425 | |
| | | 19年 | 55,466 | 439 | |
| | | 20年 | 64,285 | 442 | |
| | 5ヶ年平均 | | 72,497 | 411 | |
| | 21年見通し | | 64,000 | 400 | |
| 概要 | <p>入荷量は昨年並みか。生産は小鉢化傾向にある。関東産は5号鉢以下、愛知産は6号鉢を中心とした入荷になりそうである。 昨年9月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位埼玉（43%）、2位愛知（41%）、3位茨城（16%）となっている。</p> | | | | |
| シクラメン | 実績 | 16年 | 127,112 | 156 | |
| | | 17年 | 97,868 | 149 | |
| | | 18年 | 95,505 | 146 | |
| | | 19年 | 63,339 | 110 | |
| | | 20年 | 57,565 | 147 | |
| | 5ヶ年平均 | | 88,278 | 145 | |
| | 21年見通し | | 55,000 | 140 | |
| 概要 | <p>生産量は増加しているが、入荷量は出荷調整のため減少か。入荷は9月中旬から始まり、ガーデン向けのポット物が中心となる。 昨年9月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位埼玉（37%）、2位長野（23%）、3位愛知（17%）となっている。</p> | | | | |
| カランコエ | 実績 | 16年 | 111,703 | 152 | |
| | | 17年 | 82,186 | 170 | |
| | | 18年 | 84,730 | 177 | |
| | | 19年 | 69,661 | 185 | |
| | | 20年 | 76,748 | 205 | |
| | 5ヶ年平均 | | 85,006 | 175 | |
| | 21年見通し | | 80,000 | 190 | |
| 概要 | <p>小鉢を中心に入荷が増えそう。敬老の日需要で前半に買気が集中しそうである。後半はやや軟調な取引になりそう。 昨年9月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位埼玉（60%）、2位岐阜（32%）、3位茨城（8%）となっている。</p> | | | | |

主要農林水産物の輸出入実績 (2009年)

1 輸入実績

| 品名 | 6月 | | | | | | 6月までの累計 | | | | | |
|---------------|---------|---------|------------|-------|------|-------|-----------|--------|-------------|-----|------|-------|
| | 数量 | 前年比 | 金額 | 前年比 | 単価 | 前年比 | 数量 | 前年比 | 金額 | 前年比 | 単価 | 前年比 |
| | トン | % | 千円 | % | 円/kg | % | トン | % | 千円 | % | 円/kg | % |
| 野菜(生鮮・冷蔵) | 43,028 | 85.8 | 3,261,821 | 82.8 | 76 | 96.5 | 294,391 | 97 | 27,331,712 | 89 | 93 | 91.2 |
| トマト | 102 | 148.0 | 26,605 | 110.6 | 261 | 74.7 | 738 | 109 | 218,411 | 92 | 296 | 84.2 |
| たまねぎ | 24,733 | 97.0 | 756,508 | 102.5 | 31 | 105.7 | 92,432 | 94 | 3,550,833 | 105 | 38 | 111.6 |
| にんにく | 1,401 | 80.2 | 114,301 | 69.2 | 82 | 86.4 | 9,410 | 103 | 724,343 | 80 | 77 | 77.8 |
| ねぎ | 3,244 | 107.0 | 327,543 | 120.5 | 101 | 112.6 | 14,721 | 94 | 1,408,192 | 77 | 96 | 81.7 |
| ブロッコリー | 3,274 | 97.1 | 510,874 | 99.0 | 156 | 101.9 | 14,469 | 87 | 2,478,307 | 89 | 171 | 102.2 |
| 結球キャベツ | 777 | 425.4 | 26,955 | 440.9 | 35 | 103.6 | 10,804 | 376 | 384,125 | 320 | 36 | 85.2 |
| にんじん・かぶ | 2,237 | 31.0 | 128,059 | 24.7 | 57 | 79.5 | 19,474 | 78 | 1,049,112 | 55 | 54 | 70.8 |
| ごぼう | 2,162 | 83.7 | 116,051 | 89.6 | 54 | 107.0 | 16,132 | 80 | 655,173 | 55 | 41 | 69.0 |
| えんどう | 53 | 163.7 | 11,505 | 150.8 | 216 | 92.1 | 453 | 90 | 90,923 | 93 | 201 | 103.3 |
| アスパラガス | 192 | 74.5 | 122,835 | 67.6 | 640 | 90.8 | 6,257 | 109 | 3,198,712 | 96 | 511 | 88.0 |
| まつたけ | 229 | 15317.7 | 4,398 | 42.7 | 19 | 0.3 | 311 | 20,803 | 4,868 | 47 | 16 | 0.2 |
| しいたけ | 151 | 119.1 | 40,342 | 110.0 | 267 | 92.3 | 2,497 | 94 | 569,159 | 89 | 228 | 94.9 |
| かぼちゃ | 701 | 37.4 | 31,588 | 17.2 | 45 | 45.9 | 81,567 | 103 | 4,755,325 | 79 | 58 | 77.1 |
| 果実(生鮮・乾燥) | 209,181 | 120.0 | 26,727,224 | 112.8 | 128 | 94.0 | 1,083,753 | 115 | 122,532,248 | 102 | 113 | 88.9 |
| バナナ | 121,974 | 130.5 | 10,394,508 | 139.8 | 85 | 107.1 | 666,134 | 133 | 51,252,913 | 144 | 77 | 107.9 |
| パイナップル | 14,148 | 111.6 | 920,003 | 121.7 | 65 | 109.0 | 71,568 | 95 | 4,819,226 | 104 | 67 | 110.0 |
| レモン | 5,008 | 93.4 | 629,128 | 52.0 | 126 | 55.7 | 24,405 | 94 | 2,860,245 | 47 | 117 | 50.4 |
| オレンジ | 15,394 | 92.2 | 1,378,233 | 79.2 | 90 | 85.9 | 61,042 | 99 | 5,959,981 | 95 | 98 | 95.6 |
| グレープフルーツ | 19,695 | 100.3 | 1,374,184 | 113.6 | 70 | 113.3 | 116,065 | 92 | 11,141,169 | 92 | 96 | 99.7 |
| メロン | 2,122 | 90.2 | 228,523 | 88.0 | 108 | 97.6 | 18,698 | 91 | 2,092,618 | 87 | 112 | 95.7 |
| ぶどう | 70 | 163.5 | 19,605 | 124.6 | 279 | 76.2 | 5,192 | 105 | 799,845 | 78 | 154 | 74.5 |
| キウイ | 12,548 | 160.1 | 3,760,243 | 160.3 | 300 | 100.2 | 31,823 | 89 | 9,749,499 | 92 | 306 | 103.4 |
| いちご | 218 | 101.6 | 193,521 | 93.0 | 889 | 91.6 | 267 | 106 | 224,687 | 93 | 842 | 88.0 |
| 切花(生鮮・乾燥) | 2,150 | 127.2 | 1,617,675 | 115.2 | 752 | 90.6 | 16,682 | 105 | 12,465,714 | 96 | 747 | 91.4 |
| 鳥獣肉類 | 150,832 | 97.9 | 61,781,030 | 82.9 | 410 | 84.7 | 815,472 | 96 | 350,903,258 | 88 | 430 | 92.0 |
| 牛肉(くず肉含む) | 47,675 | 101.0 | 17,979,760 | 79.7 | 377 | 79.0 | 230,732 | 103 | 87,848,800 | 83 | 381 | 80.5 |
| 豚肉(くず肉含む) | 61,494 | 88.8 | 32,265,507 | 88.3 | 525 | 99.4 | 368,573 | 91 | 193,139,831 | 91 | 524 | 99.6 |
| 鶏肉 | 33,516 | 114.0 | 6,783,733 | 76.2 | 202 | 66.8 | 169,963 | 94 | 44,832,300 | 93 | 264 | 99.0 |
| 水産物(生鮮・冷蔵・冷凍) | 146,343 | 86.3 | 73,303,628 | 81.8 | 501 | 94.7 | 871,485 | 90 | 456,935,869 | 83 | 524 | 92.0 |
| まぐろ類 | 15,231 | 97.5 | 11,116,206 | 96.8 | 730 | 99.3 | 107,966 | 93 | 101,313,261 | 83 | 938 | 90.2 |
| さば・さんま・あじ・いわし | 4,230 | 92.8 | 655,371 | 89.8 | 155 | 96.7 | 62,371 | 107 | 10,942,408 | 105 | 175 | 98.3 |

2 輸出実績

| | | | | | | | | | | | | |
|--------------|-----|-------|---------|-------|-------|-------|--------|-----|-----------|-----|-------|-------|
| 果実(生鮮・乾燥) | 144 | 57.9 | 110,498 | 70.9 | 768 | 122.4 | 10,683 | 77 | 2,952,056 | 66 | 276 | 85.3 |
| うんしゅうみかん | 4 | 88.9 | 4,403 | 82.0 | 1,201 | 92.2 | 109 | 64 | 73,767 | 88 | 678 | 138.9 |
| りんご | 84 | 68.1 | 32,705 | 79.9 | 389 | 117.4 | 10,249 | 78 | 2,451,336 | 64 | 239 | 81.8 |
| なし | - | - | - | - | - | - | 12 | 19 | 6,238 | 18 | 525 | 96.6 |
| 野菜(生鮮・冷蔵・乾燥) | - | - | 227,581 | 72.9 | - | - | - | - | 1,426,951 | 84 | - | - |
| 緑茶 | 151 | 115.5 | 305,100 | 123.8 | 2,026 | 107.2 | 936 | 130 | 1,642,931 | 113 | 1,756 | 87.1 |

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

関 連 指 数

| 項目 年月 | | 消費者物価指数 (全国 平成17年 = 100) | | | | |
|-------------|--------|--------------------------|-------|-------|-------|-------|
| | | 総合 | 生鮮野菜 | 生鮮果物 | 肉類 | 魚介類 |
| 全 国 | 20年平均 | 101.7 | 104.7 | 102.4 | 106.9 | 105.5 |
| | 21年 2月 | 100.4 | 101.7 | 100.4 | 106.7 | 105.3 |
| | 3月 | 100.7 | 103.7 | 97.4 | 106.9 | 105.3 |
| | 4月 | 100.8 | 110.3 | 89.3 | 106.2 | 105.5 |
| | 5月 | 100.6 | 105.7 | 104.3 | 106.0 | 105.1 |
| | 6月 | 100.4 | 101.6 | 105.8 | 105.5 | 103.9 |
| 愛 知 県 | 20年平均 | 101.7 | 100.9 | 101.6 | 104.8 | 104.0 |
| | 21年 2月 | 100.8 | 94.6 | 100.8 | 103.6 | 101.2 |
| | 3月 | 101.3 | 97.2 | 97.3 | 102.6 | 104.5 |
| | 4月 | 101.7 | 103.4 | 90.1 | 101.4 | 104.0 |
| | 5月 | 101.3 | 100.0 | 101.3 | 101.5 | 105.4 |
| | 6月 | 101.2 | 100.0 | 104.3 | 100.8 | 104.5 |

| 項目 年月 | | 農業物価指数 (平成17年 = 100) | | | | |
|----------|--------|----------------------|------|-------|-------|-------|
| | | 農産物総合 | 米 | 野菜 | 果実 | 畜産物 |
| 全 国 | 20年平均 | 97.7 | 94.7 | 104.8 | 100.8 | 101.6 |
| | 21年 2月 | 96.5 | 98.6 | 101.3 | 103.2 | 96.3 |
| | 3月 | 103.7 | 98.4 | 122.2 | 84.8 | 96.0 |
| | 4月 | 97.4 | 98.7 | 108.1 | 76.7 | 97.6 |
| | 5月 | 94.2 | 98.6 | 100.7 | 82.4 | 100.0 |
| | 6月 | 93.9 | 98.4 | 98.8 | 101.0 | 101.1 |

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

| 名 古 屋 市 小 売 価 格 (円) | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|-----------------------------|----------|------|------|------|---------|---------|---------|------|------|---------|---------|---------|
| 品目 単位 年月 | うるち米 (単一品種、「コシカ り」以外) | キャベツ | はくさい | ねぎ | レタス | ばれいしょ | だいこん | にんじん | たまねぎ | きゅうり | トマト | 生しいたけ | りんご(ふじ) |
| | 5 kg | 1 kg | | | | | | | | | | 100g | 1kg |
| 20年平均 | 2,212 | 150 | 170 | 637 | 420 | 272 | 143 | 331 | 191 | 558 | 605 | 208 | 494 |
| 21年 2月 | 2,215 | 167 | 127 | 519 | 426 | 271 | 118 | 270 | 185 | 604 | 599 | 215 | 395 |
| 3月 | 2,243 | 152 | 169 | 511 | 471 | 276 | 123 | 271 | 194 | 666 | 699 | 190 | 410 |
| 4月 | 2,243 | 209 | 261 | 503 | 426 | 354 | 164 | 303 | 207 | 432 | 674 | 189 | 442 |
| 5月 | 2,240 | 236 | 229 | 572 | 380 | 302 | 142 | 306 | 180 | 401 | 603 | 184 | 467 |
| 6月 | 2,240 | 150 | 190 | 643 | 323 | 311 | 151 | 325 | 192 | 412 | 496 | 186 | 490 |
| 品目 単位 年月 | みかん | グレープフルーツ | オレンジ | いちご | バナナ | キウイフルーツ | 緑茶(せん茶) | カーネーション | きく | バラ | 豚肉(ロース) | 牛肉(ロース) | まぐろ |
| | 1 kg | | | 100g | 1 kg | | 100g | 1 本 | | | 100g | | |
| 20年平均 | 553 | 346 | 408 | 150 | 261 | 669 | 614 | 163 | 172 | 328 | 230 | 824 | 492 |
| 21年 2月 | 592 | 338 | 405 | 148 | 259 | 650 | 599 | 158 | 161 | 328 | 225 | 785 | 465 |
| 3月 | 606 | 318 | 345 | 143 | 253 | 608 | 607 | 164 | 168 | 336 | 223 | 754 | 473 |
| 4月 | - | 306 | 338 | 122 | 266 | 605 | 611 | 158 | 166 | 326 | 223 | 732 | 461 |
| 5月 | - | 296 | 345 | 121 | 263 | 723 | 611 | 177 | 159 | 328 | 223 | 750 | 483 |
| 6月 | - | 296 | 358 | - | 266 | 640 | 600 | 160 | 164 | 318 | 223 | 721 | 477 |

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



あいち農産物生産流通レポート 435
平成21年9月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6417